



walk home in delight

introduction

北欧で出逢ったクリスマスの日常。フォトグラファー今城純の初の大型個展。

雑誌・広告をはじめとし幅広く活躍するフォトグラファー今城 純。日々の生活に写真のある毎日を感じてもらうべく、伊勢丹新宿本店とのアートコラボをスタートさせるなど、その活動領域を広げています。また今城は現在、オルビスの会員誌「hinami」の表紙の撮影も担当しています。

今回、今城自身初となる大型個展では、クリスマスをテーマに選び、北欧を旅しながら、そこでしか出会えないその一瞬の積み重ねをファインダーにおさめました。何気ないクリスマスの日常だけでなく、時に凜とした寒空の下に広がるほのかな輝きを、独自のアングルで切りとり、やさしい光をまといながら生み出される写真は、のびやかに流れる時間、そしてそこに集う人々の心情までも写し出しています。

概要

タイトル：walk home in delight

会場：ポーラ ミュージアム アネックス / 東京都中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3F
東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口すぐ

会期：2013年11月8日（金）～12月25日（水）会期中無休

時間：11:00 - 20:00（入場は閉場の30分前まで）

入場料：無 料

主催：ポーラ ミュージアム アネックス

制作協力：D-CORD

企画制作：PARCO

お問合せ：03-3563-5501（ポーラ ミュージアム アネックス）

本件のお問合せ

株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス 広報・IR室

tel.03-3563-5540 / fax.03-3563-5543

www.po-holdings.co.jp/m-annex/

introduction

今城 純が写し取る、北欧の光と優しさと。

柔らかな光、澄んだ色合いを特徴とする彼の作品は
圧倒的な頻度を持って「可愛い」という言葉で評される。
しかし、彼の視線をたどればそこに「優しさ」があることにも気づくだろう。

今回の個展に向けて、今城が選んだテーマはクリスマス、真冬の北欧。
飾り付けられた窓から漏れる温かな光、そこに集う人々の姿
どこまでも白く、青く、時に厳しくも幻想的に広がる街並。
いくつもの街を旅しながら出会ったクリスマスの日常で
彼は独自の視線で「優しさ」を切り取った。
それは、見る者の幸福な記憶を呼び覚ましてくれる。

“walk home in delight”

さあ、楽しみを胸に歩いて家に帰ろう。

profile

今城 純 (いまじょう じゅん) / フォトグラファー

1977年生まれ。横浪修氏に師事後、2006年よりフリーランスとして、数多くのファッション誌や広告などを幅広く手がけている。今城の世界観に取り込まれた被写体は、とても優しく美しい。いま、注目される写真家のひとりである。
代表的な作品集として、「milk tea」「earl grey」(MATOI PUBLISHING)など。

プレス用宣材（印刷用の解像度の高いデータなどご用意しております）

